

# 日本エイジノミクス原論

初の「三世代平等型社会」の達成

堀 亜起良 東洋哲学者

目次

はじめに 1

世界の宝石鉱脈としての日本 \*一生に四度は訪れてみたい国

## 第一章 日本初出のオリジナル人生

Ⅰ 加齢が価値でありつづける人生 9

カレイな加齢はみんなのもの \*東洋哲学の存在原理は「生命体」

「がんばらない3」と「がんばる7」と \*「老人力」と交々に「丈人力」を

「体・志・行」が人生三元カテゴリー \*健康寿命の延伸は「家庭内雑事」で

Ⅱ 「二五年三期（成長・成熟・円熟）」の人生 27

「G型ライフサイクル」\*高年世代を加えて「三世代」を平等に

六〇〜八四歳は成熟+円熟期 \*高齢後期から「フレイル」に要注意

未踏の高齢社会を初代として拓く \*仲間と昇る八段階の「賀寿期五歳層」

## 第二章 マイホーム意識を改める

### Ⅰ 「MY・・」がないマイホーム 43

団塊パパとママの憂鬱 \*アノヒトとかヒカラビてる人とかいわれて  
「ヒツペガシ娘」vs「ツカエナイ親父」\*総理も女性と若者に肩入れ  
どうする?孤立無援のパパ \*家庭内ホームレスの予感

### Ⅱ わたしのモノの存在感 57

マドギワに「MY・チェア」を据える \*即座の効用は「坐忘」の境地  
わたしのモノ同士のモノ語り \*「高齢化コア用品」を結ぶ暮らしネット  
一日のテーマを「八方時刻」に振り分ける \*三時間ごとの生活実感

### Ⅲ 広がった亀裂と格差 67

「榊陀多(カンダタ)」の話 \*また大震災に遭遇して  
「非を飾る」若者たち \*「もう時代に関わらない」という安保世代  
IT化と「デジタル・デバイド」 \*スマホ娘はITオンチ親父を蔑視  
中年現役ににぶい賃金上昇 \*世代間に亀裂が広がる

### Ⅳ 「三同同(三世代同等同居)型」住宅をつくる 83

国の骨格をつくる家族のかたち \*「実家依存症」といわれても  
M字型でなく真一文字型の就労 \*「三同同(三世代同等同居)型」住宅をつくる  
暮らしの知恵を次世代に伝える \*「ジージ」を自慢するジュニア

## 第三章 モノづくりオリジナル

### Ⅰ 「MADE IN JAPAN」の意味 95

「サンパク以後（三八九一五）」は片下がり \*高齢者に内在するデフレの要因  
九割中流という「近似大同社会」を実現 \*歴史的にまれな戦後平等社会

「MADE IN JAPAN」のゆくえ \*丈夫で長持ちする中級品に評価

#### II 途上国産の日用品に囲まれて 104

アジア開化で「途上国産品」がニッポン乱入 \*「アジアの共生」（モノの豊かさ）を実感  
家庭に「百均グッズ」・職場に「非正規社員」\*途上国日本化による日本途上国化  
途上国製品が安価粗悪を脱するとき \*「足踏み」していた熟練技術者が動く

#### III 頼れる優良国産品が再登場 112

やや高安心の優良国産品 \*生産現場より流通現場から対応

「成熟+円熟」商品（OPG）がGDPを拡大 \*エイジノミクスを支える「終身・年功型」意識  
「SWIT型会議」が新日本型マネジメント \*「和の絆」（愛社意識）を製品に組み込む

#### IV 「新地産ブランド品」で全国制覇 124

「地域特性」が息づくまち \*みんなのでつくる「新地域特産品」

全国版「地産ブランド品」を競い合う \*「農業六次化」とご当地グルメ  
三世代の意欲的企画の合流点 \*「三世代ふれあい館」なんていいね

### 第四章 まちづくりオリジナル

#### I ひとときを憩うまちの中心街 136

夜はコンビニの明かりが頼り \*商店街は「モノと暮らしの情報源」

「歩行生活圏」と「車行生活圏」 \*中心街に溜まり場をつくる高齢者と子ども

「三世代四季型中心街」でひとときを憩う \*季節の風物に安らいでお国ことばで語る

II 住み慣れた地域で暮らす 145

現風景に「ふるさと原風景」を重ねる \*Uターンする人びとの願い

「ニシキ族」より「キキョウ族」 \*新たなふるさとのための「地方創生住宅」

横並びの均衡、横比べの特性 \*「国土の均衡」に「地方の特性」を上乘せ

わがまち独自の「地域助け合い」\*「地域協議体」が地域活動の拠点に

III 中学校区に「地域生涯大学校」を創設 160

明治・昭和「大合併」では人材養成 \*「村立尋常小学校」と「町立新制中学校」

「市立（公立）生涯大学校」の基準型 \*高齢期に必要な知識と地域カリキュラム

生涯の友人・生きがい・まちづくり \*まちづくりに知識・技術を活かす

第五章 「失われた二〇年」

I 二〇年に何が失われたのか 170

高齢者対策は進展、高齢社会対策が延滞 \*高齢化対策は二〇年の「片肺飛行」

高齢者はすべて「社会の被扶養者」という固定観念 \*みんなで渡った「霞が関の赤信号」

「九割中流」から「下流老人」への酸欠流下 \*無策連鎖が「下流老人」「老後破産」を生む

II 歴代の高齢社会対策担当大臣に責任 186

高齢社会対策の「基本法」「大綱」の経緯 \*諸事業羅列のまま世紀をこえる

二〇一二年に「大綱」を改定 \*情報を知らされない高齢者

バトンを受けた歴代の「対策担当大臣」に責任 \*内閣府に専任の担当大臣を

III 高齢者間にみる較差 196

かつては功いまは罪の「急流勇退」\*「隠退」で知識・技術を持ち去る

「隠退ウーピース」として \* 「一陽来福」型の高齢者層

「ほどほどの赤字人生」が男の美学 \* 「先憂後楽」型の高齢者層

「貯蓄ゼロの日」へのカウントダウン \* 「戦々兢兢」型の高齢者層

## Ⅵ 大正生まれの人びとへのオマージュ(賛辞) 211

かあさんは許さない \* 再演「亜流歴史劇」プロローグ

「良妻賢母」に育てられて \* 大正生まれの母たちの人生

大正生まれの人びとへのオマージュ(賛辞) \* 働きづめに働いた人びとの本音

## 第六章 ニッポン発二一世紀オリジナル

### Ⅰ 「三世代平等型長寿社会」の達成へ 226

「歴史的正午」の光を浴びて \* 「長寿社会グランドデザイン」構想を掲げる

「平和団塊」世代が長寿社会モデルを体現 \* 「平和団塊」のみなさんの横顔

世界初の「三世代平等型社会」を達成へ \* すべての世代が等しく参加して

### Ⅱ あたたかな「地域生活圏」の創出 245

地域の歴史をつくる劇的な実感 \* 「昭和丈人」層の暮らしが歴史に

さまざまな高齢社会構想

\* 「環境未来都市」と「環境モデル都市」(内閣府)

\* 「高齢社会領域一五プロジェクト」(RISTEX)

\* プラチナ大賞」(プラチナ構想ネットワーク)

\* 「高連協高齢者宣言」(高齢社会NGO連携協議会)

活動の現場からの発言 この人の声を聴くべし

目 新入りの国際人として 270

国民性としての「ホスピタリティ」 \*自然にあふれ出る「おもてなし」の心

外国人リピーターを増やす接客法 \*領土小国を四倍に見せる法

「1999国際高齢者年」からのメッセージ \*国連「高齢者五原則」が国際指針

Ⅳ 不戦不爭の灯かりを伝えて 280

「ノウサギ平和主義」 \*国際平和会議と「第三回WAA会議」の招致

「戦後七〇年目」の八月の心 \*命をいう女性と戦場をいう男たち

「日本国憲法一〇〇年」を国際的に祝う \*不戦不爭の灯かりを伝えて

Ⅴ 「寿終正寝」(天寿九〇)を全うする 296

「人生の達人」としての八面玲瓏 \*高年期の充実にむけた自問自答

「寿終正寝」(天寿九〇)を全うする \*「自己実現」と円熟エンディング

小さな水玉模様のような「尊厳人生」 \*指針の「老中八策」を傍らに

おわりに 309

二〇〇〇年の歴史遡行の旅 \*中国土中の洛陽で得た自己目標

赤い兎の目と戦争の記憶 \*灯火管制の下で・・